

自主防災かわら版

2018・3号

**応急処置講習会のご案内**

**7月22日（日）10時～12時**  
**はるひ野黒川地域交流センター**

**夏に向けて熱中症、毒虫、毒蛇等の対策です。**

毎回好評をいただいている「応急処置講習会」を今年7月に開催します。夏に向けて熱中症や毒虫、毒蛇の対策を中心にした講習会です。いずれも、初動をあやまると命に係わる危険な症状や被害です。

是非この機会に講習会へ参加し、対処方法をしっかりと身につけましょう。

**ご家族で一緒に！ 小さなお子さんがご一緒でも、大丈夫。どなたでも大歓迎です。**



【日時】2018年7月22日（日） 午前10時～昼12時

【会場】はるひ野黒川地域交流センター

【定員】40名（先着順）

【ご指導】国土館大学防災・救急救助総合研究所

【申し込み先】 [bousai@town-haruhino.join-us.jp](mailto:bousai@town-haruhino.join-us.jp)

- ① 「応急処置講習会参加希望」と明記
- ② 参加人数並びに参加者名（全員）
- ③ 参加代表者メールアドレス

【申し込み締め切り】7月15日（日）

【講習内容】

- ① 熱中症対策、発症した場合の対処方法
- ② 毒虫、毒蛇等の対策
- ③ その他の夏場に注意すべき対処方法等

（内容は当日の状況により若干変更する可能性があります）

## ～2018年度 はるひ野町内会 防災訓練～

# 安否確認旗掲出訓練の報告



訓練にご協力いただきまして  
大変ありがとうございました。  
掲出率は**62.4%**でした。

2018年5月27日(日) 午前8時45分～9時45分に、安否確認旗掲出訓練を実施しました。掲出率は62.4%と昨年度を大きく上回る結果となりました。気候の良い時期で窓を開けていたご家庭も多く、朝の広報車でのお知らせ聞いて旗を掲出いただいた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、なんといっても積極的にご参加いただいたことがこの結果に結びついたものと思います。ご協力大変ありがとうございました。

**訓練の目的は、安否確認旗の保管場所や使用方を覚える事**ですので、この機会にもう一度見直し、更なる防災意識の向上を図って下さい。

大変暑い中、安否確認旗の掲出にご協力頂いた皆様、報告／集計にご協力頂きましたブロック代表者、班長の皆様、大変ありがとうございました。

実際の災害時には、「**ご自身、ご家族等安全が確認できたら掲出**」頂きます。訓練の様に班長、ブロック代表者に報告する必要は無く、ご近所の「**救助が必要な家庭(旗が掲出できない)**」をできるだけ早く**見つけ、互いに声をかけ合い、協力して助け合うことが目的**です。掲出の目安はおおむね震度5強としています。川崎市内でこの震度の揺れが発生した場合、防災放送が流れたり、避難所が開設されたりします。



掲出数報告、集計の様子

訓練結果（掲出戸数の割合率推移）

	旗掲出戸数	総戸数	掲出戸数の割合率 (%)
2013/9/1	605	1130	53.5%
2014/3/8	582	1137	51.2%
2014/9/20	657	1304	50.4%
2015/2/28	543	1306	41.6%
2015/10/10	829	1351	61.4%
2016/6/18	991	1392	71.2%
2017/8/26	717	1301	55.1%
2018/5/27	906	1453	62.4%

2018年5月27日訓練結果（丁目ごと）

	旗掲出戸数	総戸数	掲出戸数の割合率 (%)
1丁目	98	138	71.0%
2丁目	247	391	63.2%
3丁目	287	403	71.2%
4丁目	101	258	39.1%
5丁目	173	263	56.1%
合計	906	1453	62.4%

\*（旗掲出戸数、総戸数は報告数の集計）

## 2018年間かわら版テーマ 避難所開設

### その1 避難時のペット

自主防災かわら版では今年一年を通して、「避難所開設」をテーマにしています。今月は「避難時のペット」です。



4月の役員会に参加された方を対象にしたアンケートでは、169人回答の中で60の方がペットを飼われているという結果が出ました。町内会2,000弱の世帯数に換算すると、概ね**600世帯の方々がペットを飼われている**と推定されます（飼育数は複数匹飼っている世帯も有りますので、世帯数以上）。（詳細は次頁参照）

ペットを飼われている皆さんは、地震等の災害に備え日頃からどのような準備、対策をされていますか？ 川崎市では「**ペットの飼い主のための防災手帳**」を配布していますので、内容等を含め簡単に紹介します。

#### ■ペットのプロフィール

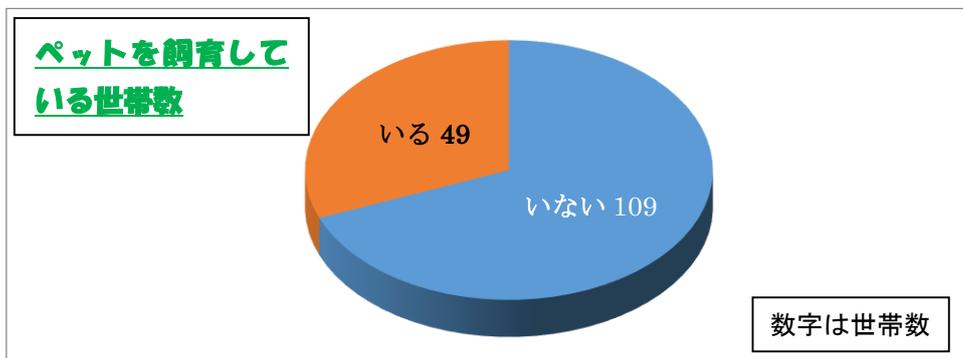
飼い主情報（住所や電話番号等）とペット情報（種類やマイクロチップ番号、狂犬病予防接種歴等）、一緒に写っている写真などの**情報を携帯や防災手帳などに保管。**

#### ■日常の備え

- (1)災害時の家族の集合場所、連絡方法、親戚や知人の連絡先の確認。
- (2)家具転倒防止やガラスの飛散防止等による、**飼い主とペットの安全な住環境の確保。**
- (3)飼養場所の確保：同行避難推奨とはいえ避難場所で飼えない場合も想定し、**一時的に預かってもらえる親戚等を探しておく。**
- (4)日常のしつけとマナーが大切：**非常時にはケージで飼養することが考えられます。**おびえて鳴いたり他人に吠えついたりしないようトレーニングを心がける。
- (5)防災用品：人のための防災グッズだけでなく、**ペットのための防災用品も準備しておく必要があります。**

## はるひ野 ペットについてのアンケート結果

まずは「はるひ野にはどの程度の数、種類のペットが飼育されているか」を知る為に、アンケートを実施しました。4月7日の役員会にご参加された169世帯の皆さんに、ご協力いただきました。ペットのいる世帯がおよそ30%、はるひ野の世帯数から約600世帯でペットが飼われていると推定できる結果となりました。これだけの数のペットを災害時に避難所で受け入れられるか、また受け入れる際の方法など、今後検討していく貴重なデータを得ることができました。



ペットの内訳をみると、約75%をしめる室内犬をはじめ、ほとんどのペットが室内で飼われています。災害時はペットと一緒に過ごすことができないことも考えられます。先の頁にありますようにゲージの中で過ごせるよう躡ていただくなど、日ごろから災害時を考慮した準備が必要です。

